

新たな行財政改革の検討について

1 行政運営全般にわたる総点検の実施

少子高齢化等による行政需要は増大する一方、大きな税収の増加は期待できないという財政的制約や地方分権の進展の中、「元気発進！北九州」プランを実現するためには、市民ニーズを的確に把握し、市民の理解や納得を得ながら、施策に優先順位をつけ、より一層の「選択と集中」を進めていくことが必要である。

市民との信頼関係を深めつつ市政運営を行うためには、税金の使い方について常に検証し改善していくことが重要である。

そこで、行政運営が効率的・効果的であるか今一度総点検を行い、今後の行財政改革の方針を定めるもの。

2 行財政改革の取り組みにあたっての基本方針

中長期的な視点も含め総点検を行う

将来的にも活力があり、安心して暮らせる市政を継続するため、中長期的な視点も含め、行政運営全般（公共施設・組織・事業等）にわたり、総点検を行う。

市民にわかりやすい行財政改革

市民にわかりやすく、かつ、理解と納得が得られる行財政改革とする。

3 庁内推進体制として「行財政改革推進本部」の設置

市長を本部長、副市長を副本部長とし、各局区室長を構成員とする全庁的な推進組織を設置し、本取組みを進める。（平成 23 年 8 月 5 日設置）

4 「北九州市行財政改革有識者会議」の開催について

市政運営全般にわたる総点検及び今後の行財政改革の方針を定めるにあたり、有識者による「行財政改革有識者会議」を開催し、意見を伺うもの。

行財政改革に関し見識ある有識者（学識経験者、経済界・労働界等）7名で構成

第1回会議 平成23年8月10日

議題 「新たな行財政改革の検討の柱と見直しの視点」

北九州市行財政改革有識者会議 委員名簿

氏名	所属
(座長) 齋藤 貞之	九州国際大学 経済学部特任教授
根本 祐二	東洋大学 経済学部教授
工藤 裕子	中央大学 法学部教授
原田 美紀	はらだ法律事務所
藤田 和子	藤田公認会計士事務所
重泷 雅敏	TOTO(株)相談役
衛藤 辨一郎	元 鉄鋼労連 中央執行委員長

(敬称略)

新行財政改革における見直しの柱と検討の視点

市役所仕事総点検

公共施設・組織・事業・見直しの仕組み等あらゆる仕事の総点検を行う。

1 公共施設のマネジメント

市有施設全体について、資産経営の視点に立った仕組みづくり
全市的な視点で、施設のあり方の見直し
保有財産の最適化や長寿命化
効率的で市民サービスの向上に資する管理運営

2 組織のマネジメント

簡素効率的な組織体制、改革の風土づくり
職員数、人事制度など

外郭団体（公共サービスを担う、優れた「経営体」への変革）
市・民間との役割分担、市の関与のあり方
団体の統合を視野に入れた適切な団体規模の検討

3 事業の見直し

あり方の見直し・・・市が実施していくことの必要性
所管事業・施設の総点検
民間活力の導入
直接市が行うべきか、どこまで行うべきか総点検
直営施設の指定管理者制度のさらなる導入等
民間提案による民間委託（事務事業の包括的な民間委託）の検討

4 行政評価を活用した選択と集中の推進に向けた仕組みづくり

評価対象・評価方法の見直し
外部評価・市民意見反映の仕組みづくりの検討